

5年目最終報告

オーナー：パシフィック・セミナー様（セクターNo. 3-4）

いつも ELNA が実施するタイマイ保全活動にご支援頂き、誠にありがとうございます！

5年間の保護により、

21,709 個のタイマイ卵を守ることができ、そのうち 11,357 匹の子ガメが海へ帰っていきました。

パシフィック・セミナー様の保護区間内での 5 年間の保護実績の詳細は下記の通りです。

	月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	合計
1年	産卵数	214	107	0	0	429	315	675	765	310	0	240	230	3,285
	子ガメ数	115	57	0	0	221	123	451	429	228	0	79	185	1,888
2年	産卵数	431	315	82	145	115	605	394	936	402	0	80	0	3,505
	子ガメ数	275	194	75	64	88	344	303	716	363	0	43	0	2,465
3年	産卵数	125	36	114	430	452	750	886	699	521	250	440	371	5,074
	子ガメ数	82	20	64	228	333	575	604	473	250	151	70	153	3,003
4年	産卵数	361	377	251	376	138	595	569	305	131	0	131	370	3,604
	子ガメ数	117	32	0	60	76	93	220	164	0	0	0	128	890
5年	産卵数	293	176	156	0	169	680	984	1860	1042	107	387*	387*	6,241
	子ガメ数	71	67	133	0	5	415	497	927	753	9	117*	117*	3,111

黄色マーカーの数値は調査後の最終的なデータです(修正しました)。*印のデータは、過去の平均を参考にしました。

5年目は、保護区間内に前年より 1.7 倍の 6,241 個の卵が産み落とされました。その中から生まれて海へ帰った子ガメが 3,111 匹でした。昨年より高波の被害にあう産卵巣が少なかったため、ふ化率が高くなったのだと推測されます。

ウミガメ豆知識

どうやって産卵巣を探すの？

皆様にご報告しているウミガメ産卵巣の数ですが、数値を出すためにはまず、産卵巣を探す必要があります。では、現地で働いているウミガメ保護監視員(以下「監視員」と表記)はどうやって産卵巣を探しているのでしょうか？

監視員は、毎朝早くに海岸を回って探します。なぜ朝かという、ほとんどの産卵は夜に行われるからです(昼間の産卵も稀にあります※写真↑)。監視員は海岸を回って何を探るかという、**ウミガメの足跡**を探します。歩くときは出来るだけ海岸線に沿って歩くと、前夜の足跡とそれ以前の足跡を見分けることができます。新しい足跡を見つけると、その足跡と**あるもの**を使って産卵場所を探し出します。「あるもの」については、また次回に。



<お問い合わせ>

プロジェクト詳細: 特定非営利活動法人エバーラスティング・ネイチャー www.elna.or.jp info@elna.or.jp 045-432-2358

お支払関係: オンライン寄付サイト Give one www.giveone.net ※Give one 経由で決済の方のみ

次回の報告をお楽しみに！